

## 小平市ごみ処理基本計画の数値目標の評価について（総括）

ごみ処理基本計画で設定した数値目標については、以下のとおり、2つが未達成であるものの、主要な目標としている排出物原単位（市民一人1日当たりのごみ・資源の総量）を含む5つを達成しています。

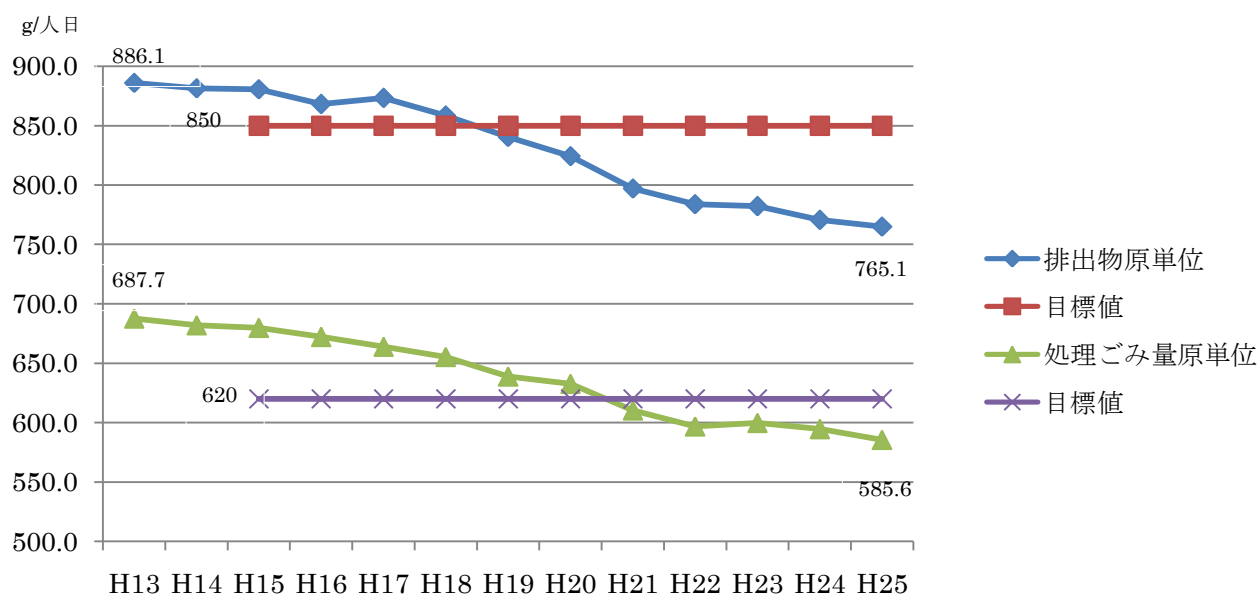
こうした結果については、概ね良好なものと評価します。

	計画目標値	平成 13 年度 (2001 年度)	平成 19 年度 (2007 年度) —中間目標年度—	平成 25 年度 (2013 年度)	達成状況
排出物原単位	850.0g/人日	886.1g/人日	840.5g/人日	765.1 g/人日	達成
処理ごみ量原単位	620.0g/人日	687.7g/人日	639.0 g/人日	585.6 g/人日	達成
収集ごみ量原単位	550.0g/人日	608.3g/人日	564.2 g/人日	524.5 g/人日	達成
持込ごみ量	H15～:5,000 t/年	5,127 t/年	4,973 t/年	4,143 t/年	達成
	H20～:4,900 t/年				
資源物混入率	10%以下	可燃 16.3%	—	可燃 12.8%	未達成
		不燃 19.7%		不燃 26.0%	
収集時リサイクル率	30.0%	22.4%	24.0%	23.5%	未達成
最終処分量	H15～:5,500 t/年	5,877 t/年	5,281 t/年	4,731 t/年	達成
	H20～:5,200 t/年				

※平成 13 年度の資源物混入率は、平成 14 年度調査の数値。

※平成 25 年度は速報値。

※平成 25 年度の資源物混入率は、平成 25 年度調査の数値。



未達成である数値目標のうち、資源物混入率については、特に「燃えないごみ」に含まれるプラスチック容器の分別が課題です。

また、前計画で参考数値としていた収集時リサイクル率は、計画目標値に達していませんが、処理ごみ量原単位が大幅に減少したことは、リサイクルよりも優先順位の高い発生抑制や再使用が進んだことを示していると推測できます。